

挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和元年 11月 28日 第9号(19-20)

発行責任者：校長 関田 誠

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

11/11 朝礼 校長講話

『グーパーじゃんけん』の話

～いじめに加担させられたら？～

今月は、いじめ防止のための『ふれあい月間』です。大宮中生の良いところの一つは、単に仲が良いというよりも、互いに違いを認め合い、尊重して生活していることです。ただ、どんなところにも人間関係の綻びの芽はあります。今朝は『いじめに加担させられたらどうする？』がテーマです。

紹介するのは、作家の佐川光晴さんの『大きくなる日』という短編集です。現在中学生の太二を中心とした家族の話です。当たり前の日常の些細な事件を通して成長した記録を、太二の保育園卒園から中学卒業までの期間で描いています。その中の一編『4本のラケット』はこんな話です。テニス部は朝練で荒れたコートで、昼休みに一年生がブラシでならすのが慣例になっています。グーパーじゃんけんの一発勝負で人数の少ない側になった者たちが、コートの整備にあたります。ある日、グーパーの直前に「太二、パーな」と友達の武藤が小声で言います。深く考える間もなくパーを出すと、一人だけがグー。その結果ハメられた末永は、一人でコート整備をするはめに…。



図書室に入りましたよ！

その夜、太二は悩みます。このままでいい訳がない。明日も起きるだろう。三年の部長か顧問の先生に言えば大事になる。誰も傷つけずに解決するにはどうしたらいいか…。その夜、息子の沈んだ様子に気づいた両親が、太二を気遣った会話から解決のヒントを得ます。そして翌日のグーパータイムの瞬間まで、太二は必死に考えます。さて、あなたならどうしますか？太二はどういう解決をしたと思いますか？（間）ネタバレですが、太二の解決策はグーパーじゃんけんに出てくるチョキを出すことでした。太二はVサインのつもりだったのですが。なぜそれが、部活の中の人間関係の解決につながったかは、実際に本を読んでみてください。爽やかな感動を保證します。私は読みながら、例によってジワッと泣きました（笑）。

三年間の中学校生活は山あり谷あり。多くの仲間とのやりとりで、一つ歯車が狂えば、深い傷や後ろめたい思い出が残ってしまう危うい場面があるかもしれません。こうした歯車が狂った時はどうするか？ 図らずもいじめに加担させられた太二のように（このままでいいわけがない）と考え、（どうしたらいいか）と悩み、小さいいじめの芽のうちに摘み取ることが大切です。そして、悩んだ時に家族や先生、親身に心配してくれる大人と話すことで解決策が見つかることもあります。覚えておいてください。どんな学校にもいじめの種はあり、小さな芽は吹きます。😊

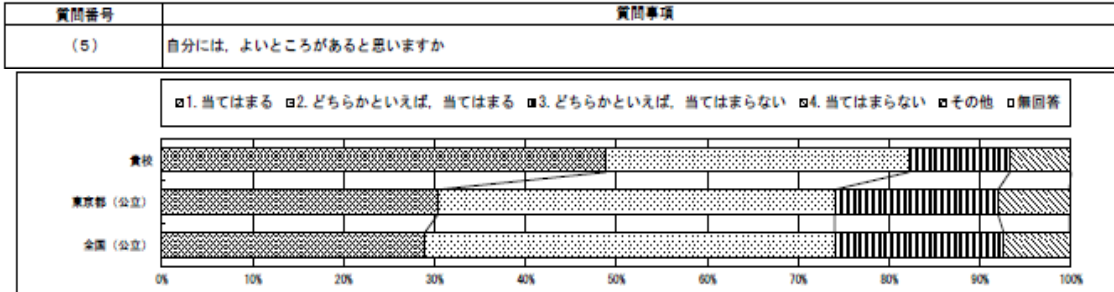
【保護者の皆様】ご一読の紹介本は 家族の成長物語です 子育てのヒントになるかまじれません。

平成31年度全国学力・学習状況調査

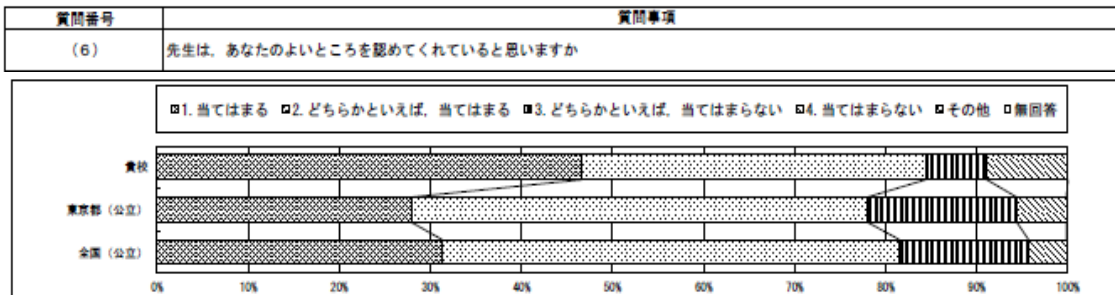
回答結果集計 [生徒質問紙] から
杉並区立大宮中学校一生涯

大宮中の強みと弱みの考察

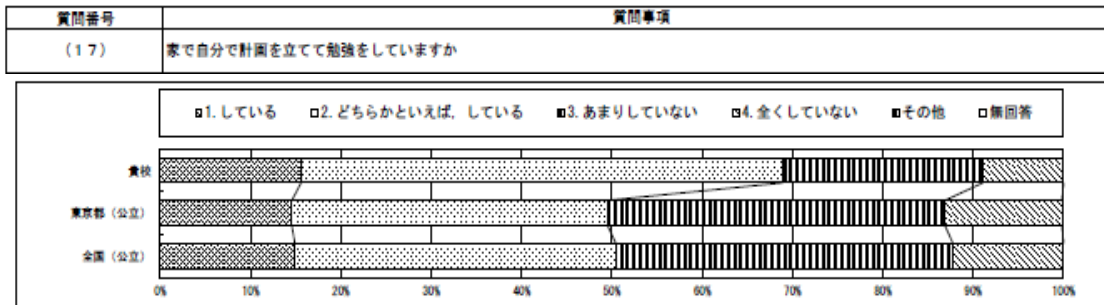
今年度の本校3年生の全国学力（国語、数学、英語）・学習状況の質問調査（69項目）の結果から、大宮中生の顕著な傾向の簡単な考察を、8項目についてお伝えします。



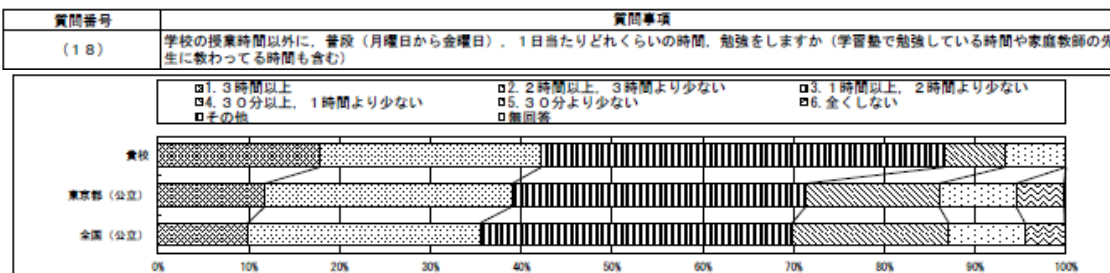
大宮中の3年生は、自分に『よいところがある』と認識している割合が高いことが分かります。自尊感情（自己肯定感）は自分の存在を信じる感情、自己有用感とは自分が必要とされていると思える感情、自己効力感とは自分の能力を信じる感情だと言われます。これらの感情が健全に育っている生徒が多いようです。



質問(5)の背景には、本校の教職員が、全般的に生徒のよいところを逃さずに認めて、言葉にして伝えていることがあると思います。これは、大宮・済美小等からの積み重ねであり、何より家庭での子育ての親子関係のよさが反映しているのでしょう。これは、大宮中のストロングポイント（強み）です。

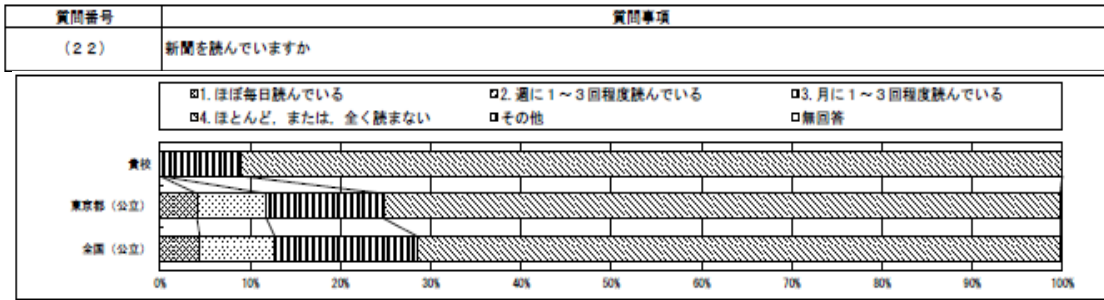


家庭学習を自立的におこなう力は、生涯学習の必要が迫られる時代に必須の能力です。『どちらかといえば～』まで含めると、全国平均より高い結果となっています。しかし、『している』の16%は決して誉められた数字ではありません。今年度より取り組み始めた『DO ノート』の計画と振り返りの力に今後の期待大です。

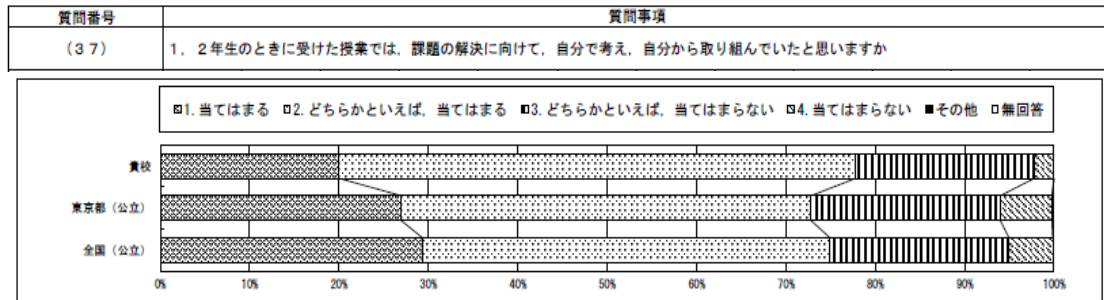


全国平均と比較して、家庭での自主学習+塾等での学習時間は高い傾向にあります。将来の夢や上級学校を強く意識して学習意欲が高まる時期は、個人差が非常に大きいところです。早くから見通しをもった生徒と、

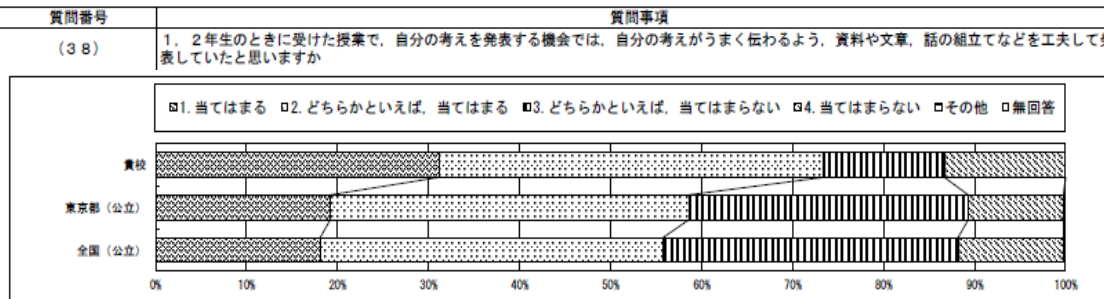
のんびりした生徒の意識の差を、各教科の授業、キャリア教育や教育相談等で埋めていきます。



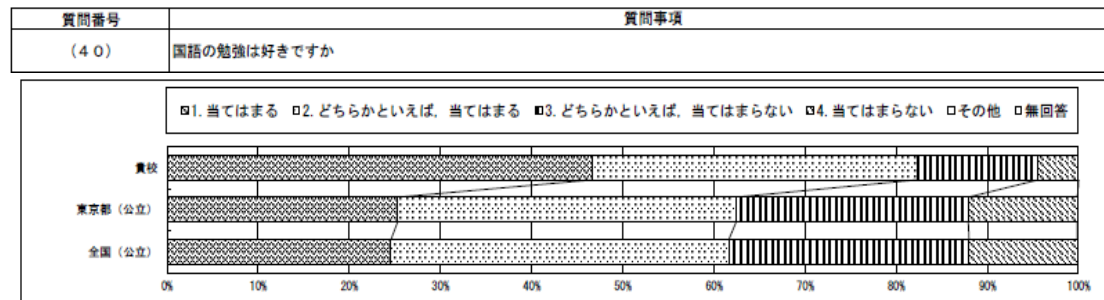
新聞は、大宮中生に驚くほど読まれていません。新聞社が真っ青になるデータです。ここまで低い数値とは思いませんでした。新聞を通して、世の中のこと象に関心を持ち、教養を深め、結果として読解力がつくことになれば良いのですが。。今後、各教室にその日の新聞を置くような工夫ができないか知恵を絞ります。



授業の中で、課題を設定して、解決に向けて自分で考えて取り組む意欲に『あてはまる』生徒が少なく感じます。まだ授業に工夫や改善の余地がある数字だと考えています。今後も新学習指導要領の柱『主体的、対話的で深い学び』に基づく授業改善に努めていきます。



各教科の授業の取り組みで、グループや個人単位のプレゼンテーションの機会を多く設定しています。全質問の『自ら課題を設け、自分の頭で考えて取り組み』、その結果を『考えがうまく伝わるように工夫』をして、スキルも高めることができれば、更に良いと考えています。



大宮中生は、国語を『好き』な生徒が47%と突出しています。数学、英語の勉強が『好き』の割合も、全国平均よりも高い(数学は全国平均が31%のところ36%、英語は全国平均が28%のところ33%が『好き』)状態です。全ての学力の土台となる国語が『好き』という結果は、大変うれしく思っています。9教科

で『大好き』な生徒が一層増えるように、毎日の授業で勝負します！

スローガン:

令和の響き～令月にして^{きよ}氣淑く風和らぐ～

当日はセッション杉並のホールで実施しました。保護者、地域の方の参観は、平日にも関わらず150人以上の方に記帳していただき、ありがとうございました。



C組の合奏『空も飛べるはず』

今年は練習期間に、菊華アンサンブルの本物の合唱を聴き、ワンポイントレッスンを受けたこともあり、一つ一つの言葉の意味も考えて表現することに、練習から真剣に取り組んでいました。発表当日も、学年が上がるにつれ、合唱のレベルがどんどん高くなります。、ステージ上で最高のパフォーマンスを発揮する学級ばかりで、特に3年生のA、B組は甲乙つけがたい、貴祿の合唱を響かせてくれました。私は聴いていてうきうき嬉しくなり、涙がにじみました。来年度は、少しでも多くの保護者・地域の方に聴いていただくために、セッションの土曜実施の抽選に挑戦します。外れたら平日で。すみません。



恒例の最優秀クラスの雄叫び!

- 最優秀賞 3年B組
自由曲『言葉にすれば』
- 優秀賞 3年A組
自由曲『虹』
- 熱演賞 C組
『365日の紙飛行機』
- ポスター賞 C組

※11月の全国大会で菊華アンサンブルが金賞受賞。

手を取り合って地域の絆深まる!

土曜授業の午後、子供園、小学生、小学校PTAのパパママ、地域のお年寄り、そして大宮中の生徒が、大宮中体育館に集い、地域教育連絡協議会(略して地協連)の子育て促進事業として『地域音楽交流会』を開催しました。

今年度は、地協連の岡野、中尾、山本さんの三名の青少年委員が全体の推進役となって、企画運営を一手に引き受けてくださいました。大宮中の生徒会本部役員も当日の進行役となり、大勢のボランティア生徒が、会場の装飾を手伝ってくれました。更に、今年度から、参加団体を募集した結果、済美小パパママダンサーズが『パプリカ』をノリノリで披露してくださいました。



済美小パパママダンサーズ。迫力のダンスでした!

大宮中からも、1・2年の女子ダンサーズ2チームが華やかなダンスを披露できました。



2年女子有志の華麗な踊り。

全体合唱の後、C組の合奏から始まり、合唱やダンスが次々に披露されていきます。子供園の歌や踊りは可愛く、老人会の三名のハーモニカ合奏も心に滲みました。大宮中、済美小の小学生の合唱も、とてもレベルが高く驚かされました。最後はソーランを大勢で踊りまくり締め。

当日アンケートに(楽しい会に参加して、大宮中生の素晴らしい司会進行やステージを観て、安心して大宮中に通わせたくになりました)との嬉しい感想がありました。Welcomeです!決して後悔させないように、今後も教職員一同、地域・保護者と手を取りあって頑張ります!

